

脂肪肝肝 安易な放置禁物 がんにつながらる恐れも

平均寿命の延長に伴って、命を落としています。今では2人に1人ががん。ただ、肝臓がんの大半を占めていると言われている。国内の死者数でその90%が肝炎ウイルスが肝臓がん(転移性を含まず) 関与しているために、感染は悪性腫瘍において肺、胃がなければ自身に關係のない

健康マイン

愛媛県医師会

に次ぐ第3位、特に県内でく思いがちです。ですが最近、肝臓がんで亡くなる方が近、これまで原因不明とされたこの数年全国で2番目に多れてきた中に誰しもかかりい結果となっています。肝臓の病気があり、しかも増臓がんが新たに見つかる4 加してきていることが明らかになりました。人に1人は進行がんのためかとなってきました。

治療困難で、肝硬変も合わせた慢性肝疾患でみると全世の中、ご自身あるいはご家族が健診で脂肪肝と言

慢性肝疾患

松山市・大手町クリニック内科消化器内科 松原 寛

われた方は少なくないの計算になります。ではないでしょうか？(健診を受けた方の実に10〜40%にも及ぶことが知られています) 以前であれば、脂肪肝は改善することが望ましいとしながらも積極的な対処は特に示されず経過をみましようと言明されることが多かったと思います。(もしかすると現在も?)

しかしながら、その一部に脂肪肝炎と呼ばれる肝硬変や肝臓がんを発生する状態が含まれることが分かっています。人口の2〜3%(米国では3〜5%)の有病率と言われています。県内では3〜4万人も脂肪肝炎の方がいるという

治療法が確定した後は、かかりつけ医の先生の元で治療を進めていただくこと、すよね? 少なくとも脂肪肝を基本としていただきますので、や肝機能検査異常と言われたら安易に放置しないで、ぜひ一度は肝臓専門医(日本肝臓学会より検索ください)を受診されることをお勧めします。最後に、健診は今回の肝臓に限らず、高血圧症や糖尿病、高脂血症や腎障害といった慢性病を見つける機会です。これらの病気が日頃、症状を自覚することはなく、進行して大病に至ることが多いため、自身の健康を過信せず異常を言われましたら放置しないで必ず一度は医療機関を受診ください。

△第2火曜日に掲載▽